（R5.1.11追加）
（昆虫類）ー対策を優先して行うことを推奨するもの

No	目名	科名	和名	学名	ランク	定着	国指定の状況	本県での影響										分布 △：古い記録、不確実な情報、可能性高いもの						影響を及ぼすフィールド								備考
								生物多様性への影響				産業影響					人への影響															
					Z・・・警戒種 Y・・・注意種	○：定着 △：定着の怖れが高いもの	特定（特定外来生物） 被害（生態系被害防止外来種）	競合、捕食、駆逐など	交雑による遺伝的撹乱	在来生物への病原菌、寄生虫などの媒介	生態系基盤の改変	農業への影響	林業への影響	漁業への影響	利水・治水障害	景観への影響	人への健康被害	人への直接被害	神戸・阪神	播磨東部	播磨西部	但馬	丹波	淡路	池沼・湖沼	河川・水路（河川敷含む）	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸	草地	森林	市街地	
R4-1	コウチュウ	カミキリムシ	クビアカツヤカミキリ	*Aromia bungii*	Z	△	特定				○	○	○			○			○	○						○						○	○	県内では、2022年に明石市で成虫が確認されている。その後、神戸市と芦屋市においても、成虫やフラスが確認されている。 被害木は、幼虫対策のための樹幹注入剤の使用、また、羽化した成虫の飛散防止のためのネット防除が望ましい。 被害木を伐採する場合は、成虫が羽化する春～夏を避けて行い、早急に燻蒸又は焼却処分する必要がある。切り株は可能な限り伐根する。困難な場合は、ビニールシート等で覆い、逸出防止措置を図ると良い。